

GDJ250ランドクルーザー2.5インチボディリフトキット

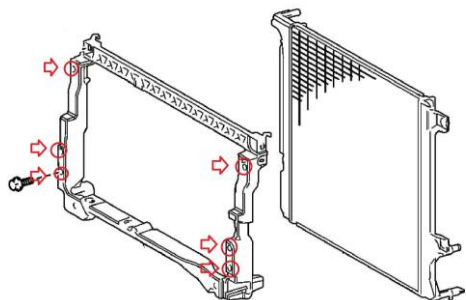
取付説明書



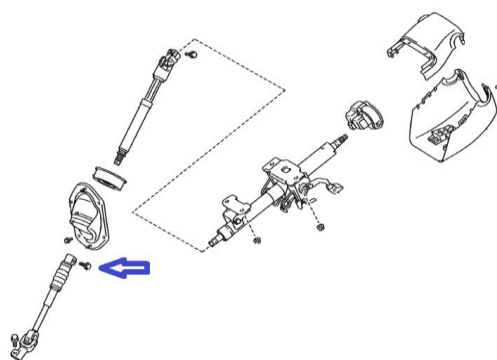
注意事項！

□ 本製品の取付けは、必ず専門業者に依頼してください。□ 本製品の加工、改造は絶対に行わないでください。
□ 本製品の装着に関する事故や弊害につきましては、いかなる場合においても、当社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。□ 本製品は、ノーマルの車両を基準に開発、設計を行なっています。ノーマルから著しい変更を受けた車両に関しては本製品の機能及び性能、安全性について保証致しかねます。□ 本書に記載されている事項を守らなかった場合、死亡や怪我の人身事故・製品や車両その他の物損事故には一切の責任を負いかねます。その場合製品や車両その他の物品や作業工賃等の金銭的保証並びに時間的・精神的損失についても一切負担致しません。予めご了承くださいますようお願いいたします。□ 本製品の装着に際して車載ジャッキやパンタグラフジャッキを使用した車体の持ち上げや保持は絶対に行わないで下さい。作業中に車両が落下してケガをしたり最悪の場合死亡する恐れがあります。必ず自動車用リフト、もしくはガレージジャッキとリジトラックを使用して下さい。

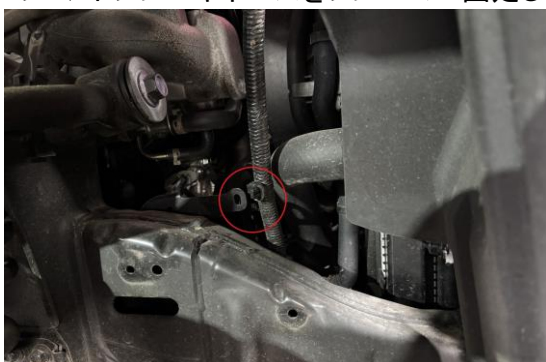
- #1 フロントグリル・フロントバンパー&ホースメント・リアバンパー・バッテリーアース、フロントフェンダー内の純正エプロンシール、スペアタイヤを取り外します。
- #2 ラジエーター固定ボルト図赤矢印の6本を取り外し、上部取り付けフックをコアサポートから外します。



- #3 ステアリングハンドルが回転しない様固定しステアリングシャフトの固定ボルトを外し抜取ります。注！ステアリングシャフトがズレない様合いマークをしましょう。



- #4 エアークリーナーボックス⇄ターボチャージャー間のサクションパイプを外します。
- #5 フロント左側フレームのバッテリーケーブルのクリップを外します。(図左)
- #6 フロント右ブレーキパイプ固定ボルトを外します。(図右)
フロントブレーキホースをフレームへ固定しているM8ボルトを左右外します。



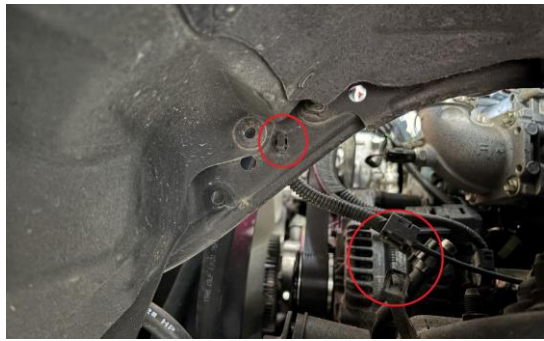
- #7 フレームサイド中央のボディーハーネス(図左)のクリップを左右とも外します。
クーリングファンのハーネス(図右)のクリップを外します。



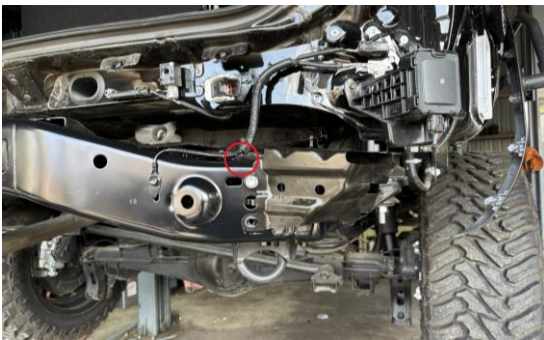
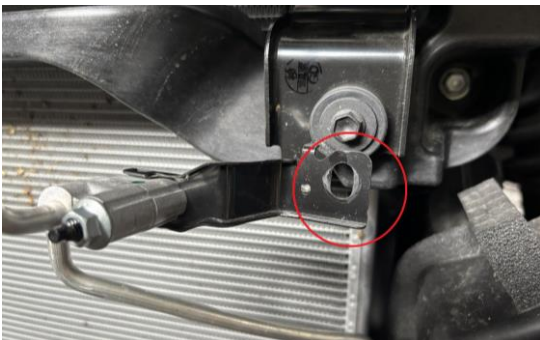
- #8 フューエルタンク横の給油パイプの固定ボルトを2ヶ所外します。(図左)
 ※スペーサー取り付け後の写真になります。スペーサーは無視し位置の確認をして下さい。
 トランスファー後ろのO2センサー2本を止め金具から取り外して下さい。



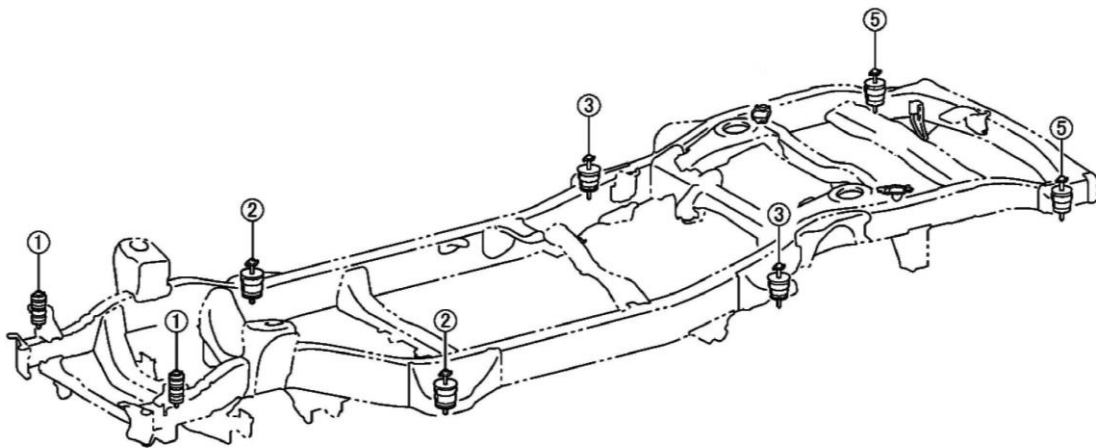
- #9 右リアシート後ろのフロアカーペットをめくり、脱落防止ボルトを取り外して下さい。(図左)
 ※図の上側が車両後方になります。
 フロントフェンダー内のABSセンサーハーネスのクリップを2か所左右共取り外します。(図右)



- #10 エアコンコンデンサーの高圧パイプの固定ボルトを外します。(図左)
 リアフレームのアース線のクリップを外します。(図右)同時にスペアタイヤも取り外します。



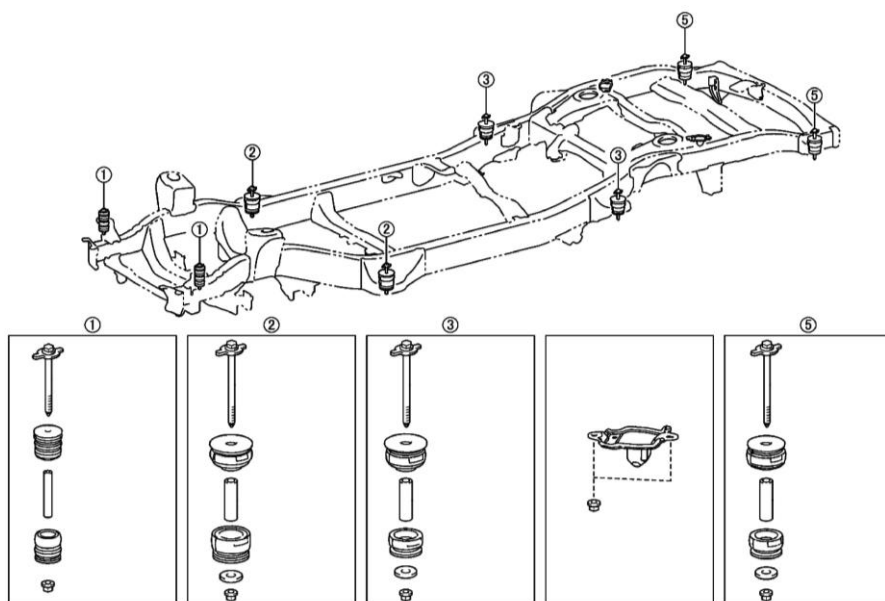
- #11 フレームの図の①②③⑤の8か所のボディーマウントボルトを取り外します。



- #12 取り外したボルトの圧入されているワッシャーを再利用する為、図の様に24mmのディープソケットを使用してハンマーで叩き抜きます。



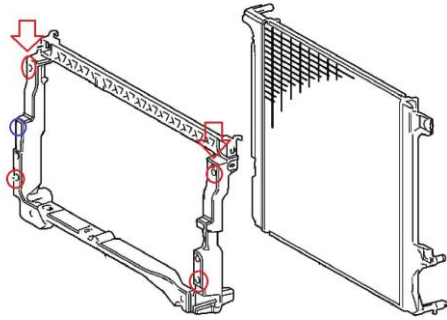
- #13 ボディーを少しずつ持ち上げ、他に外す物が無いか確認しながら上げていきます。必要に応じて取り外しを行ってください。
 図①②③⑤位置に指定のボディーリフトブロックを挟み込みます。
 ①に220mmボルト&60mm、②③⑤に240mmボルト&85mmブロックを使用。
 ①②③⑤の位置の#12で取り外したワッシャー大を使用し、付属のボルトをボディーへ差し込みプッシュ下へ付属のワッシャ、ナットを取り付けます。
 ボディーとフレームの距離を測り前後左右にボディーのズレが無いかを確認してからボルトを締め付けボディーを固定します。



- #14 エアクリーナーサクシオンパイプをターボ側で延長し取り付けします。(図左)
 ステアリングシャフト延長を行います。ステアリングシャフトにズレがないことを確認し取り付けます。(図右)



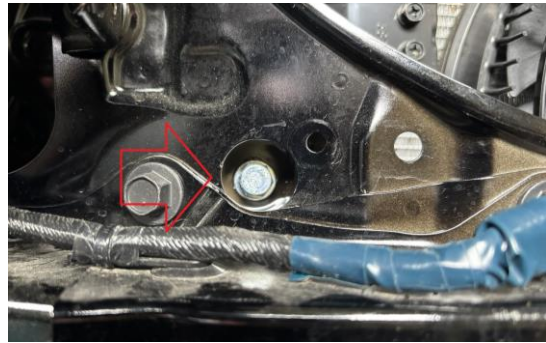
#15 ラジエター側に付属のダウブラケットを取り付けします。(図左)長い方が下部用です。ねじ山が切って有る方が上側で、テーパ状のボルトで図右の赤丸の位置に垂直に取付けます。図右の赤矢印の位置にコアサポートに掛けるフックが有りますのでトリミングしてください。



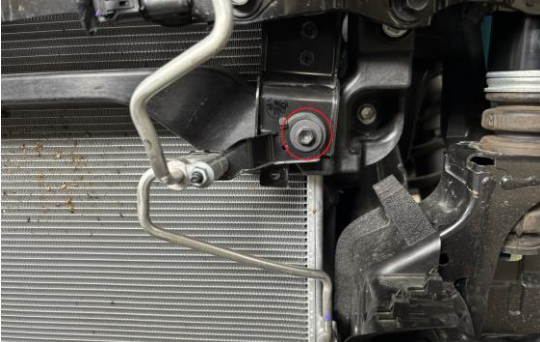
ラジエターを車体へ取り付けます。図左の青丸の位置3ヶ所に付属のM8ボルト&ワッシャーを使用し仮締めします。次に、赤丸の位置に純正ラジエター用ボルトで仮締めします。運転席側下部ブラケットを装着する際図上右の青丸の位置にボルトが干渉するため穴を開けます。運転席側の下部ブラケット(3穴)のテーパボルトを緩め、ブラケットを横へ倒し準備します。コアサポート側からラジエターフレーム図右の赤丸の位置にドリルで9mmの穴を開けます。



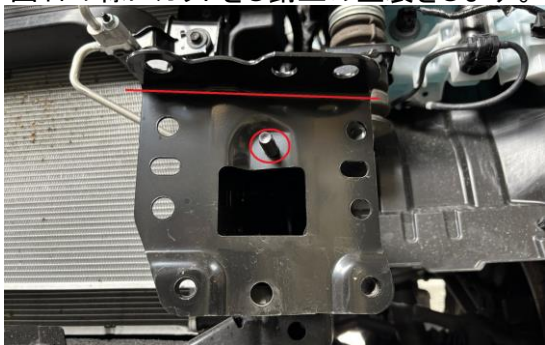
裏側に配線などが無いことを確認し図左の様に穴あけを行います。穴あけが完了したらラジエターブラケットを戻し付属のM8ボルトで仮締めします。(図右)次に、図上右の青丸の位置に純正ボルトを使用。全てのラジエター固定ボルトを締め付けます。



#16 エアコンコンデンサーの高圧パイプを固定します。パイプを曲げず左の位置に固定します。図右矢印の爪を起こして干渉しないように取り付けします。
※パイプ根本を曲げるとガス漏れの原因になります。パイプの曲がり部などで調整してください!!



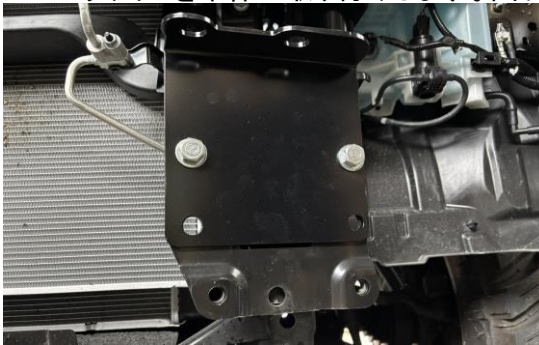
#17 バンパーホースメントの取り付けをします。
 図左の赤線の位置、赤丸のボルトも左右ともカットします。
 図右の様にカットをし錆止め塗装をします。



付属のバンパー移動ブラケットを仮合わせし、図右の様にマークを付けます。
 ※写真は助手席側のブラケットになります。左右対称の形状ですので向きに気を付けてください。



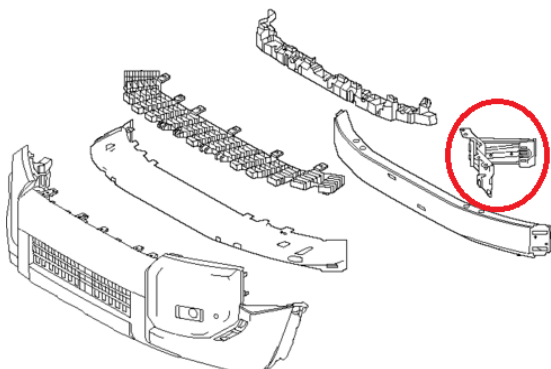
マークした位置にホールソーで35mmの穴を開けます。図左
 次に付属のM12x30mmのボルト・ナットでバンパーブラケットを車体に取り付けます。図右



バンパーホースメント装着し、上面のボルト穴にて純正ボルト左右2本ずつ仮止めをします。
 (図左) 下側は取り付け部はバンパーステーとホースメントの間に(図右) 付属のスペーサー
 を取り付け、付属のM12x35mmボルト・ナットを仮止めした後、全てのボルトを本締めします。



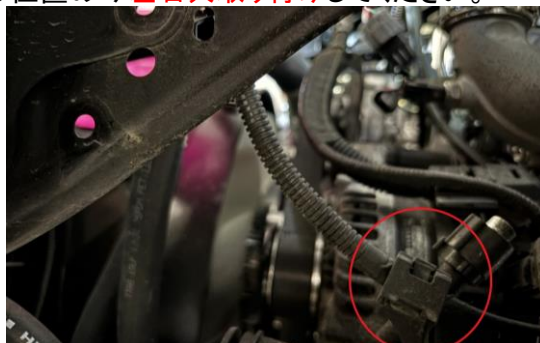
#18 バンパー内部の部品を取り付けします。赤丸の部品左右の取り付けが出来ません。



バンパーのカット位置の写真です。カットが完了したらバンパーを取り付けします。



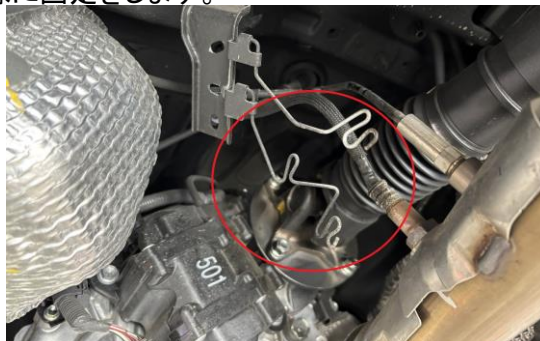
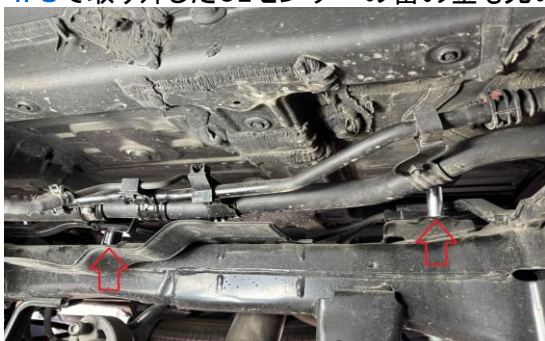
#19 図左のバッテリーケーブルのクリップを取り外し、元穴へタイラップで固定してください。図右の**#9**で取り外したABSハーネスの赤丸の位置のみ**左右共取り付け**してください。



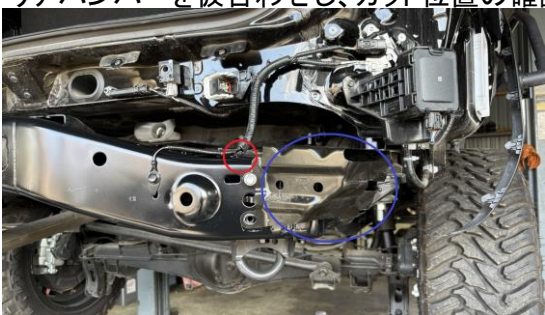
#20 運転席側フロントフェンダー内のブレーキホース固定部に付属の33mmスペーサーを挟み付属ボルトで締め付けをしてください。(図左)
※製品はアルミニウムのブラックスペーサーとなります。
ブレーキホースの移動ブラケットを取り付けします。(図右)フレーム側のボルトは純正を使用。
ブレーキホース側は付属のM8ボルトで固定をしてください。写真は運転席側となります。
助手席側も同じように取り付けをします。左右対称ですので向きに気をつけてください。



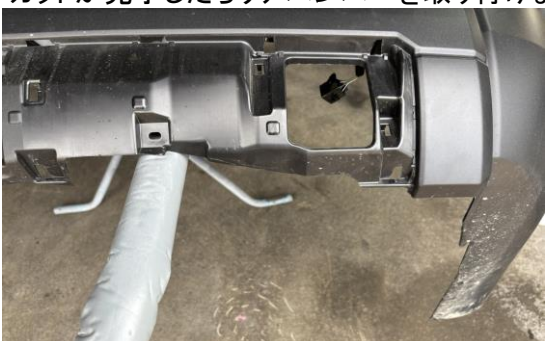
- #21** 給油パイプのスペーサ取付をします。写真左の位置に付属の大/小のブロックをボルトで固定します。
 ※製品は大小のスペーサーはどちらもアルミ製ブラックスペーサーになります。
#8で取り外したO2センサーの留め金も元の様に固定をします。



- #22** リアバンパーの取り付けをします。**#10**で取り外した赤丸のクリップをとりつけし、青丸のバンパーコーナーのブラケットを左右共取り外します。
 リアバンパーを仮合わせし、カット位置の確認をします。



画像を参考にリアバンパーの干渉位置をカットしていきます。
 カットが完了したらリアバンパーを取り付けます。



リアバンパーサイドのライナーも写真の様にカットし取り付けを行います。



裏面から見た写真です。



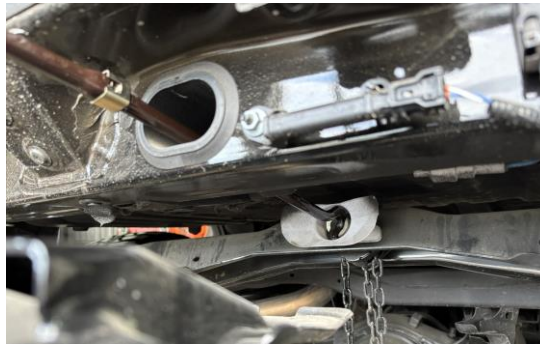
- #23** スペアタイヤキャリアの加工をします。
ボディーフットをすることにより、スペアタイヤの脱着が出来なくなります。
スペアタイヤの巻き上げ部を適正な高さへ変更をします。
図の赤丸の位置に固定されているスペアタイヤメンバーを取り外し、左右のブラケットを取り外します。



左右のブラケットの加工をします。溶接されているナットを左右共カットします。(図左)
加工したブラケットを上下逆さに取り付けをし、付属のスペーサーを使用しスペアタイヤメンバーを取り付けします。(図右)
※ブラケットは左右の形が異なる為間違わない様に取り付けしてください。



写真左はスペアタイヤ回しを挿入する穴からスペアタイヤキャリア側挿入部を見た図です。
スペアタイヤを取り付けします。



FINISH

以上をもってGDJ250ランドクルーザー用ボディリフトキットの取り付けが終了しました。
走行にあたっては注意事項を良くお読みいただき、今一度各部のチェック、増し締め
などを行ない部品の干渉などがないかを改めてご確認ください。

GARAGEMINIZ
XTREAM PERFORMANCE

CALL US

Tel: 0157-33-1228 | Fax: 0157-33-1229

EMAIL US

garageminiz@icloud.com

